

マッセイ大学について



マッセイ大学にはその敷地内に大通りのような通路があり、自家用車はもちろん、路線バスも走っていた。マッセイ大学はとても敷地が広く、教室の移動が大変だった。江戸川大学もたくさん建物があるが、マッセイ大学はそれ以上で、校舎の中に入っても迷路のようだった。学食にも違いを感じた。日本は食券を買って注文しに行く形だが、マッセイ大学ではその場でできている food を選んで、グラムで値段が変わる方式だった。ポテトはアツアツで美味しかった。江戸川大学にもあのようなシステムを作ってほしいと思った。

マッセイ大学には銀行、郵便局、フードコート、図書館、本屋等の施設があり、50以上のクラブがある。

そして、マッセイ大学にはいろいろな人種の学生がいた。ニュージーランドは国際交流が盛んだと感じた。またモーニングティーという時間が設けられていて、毎日 10:30~11:00 まで

間食の時間があつた。この時間にはスナック菓子や果物を食べた。江戸川大学でもそうだが、モーニングティーはもともとイギリスの文化であり、日本にはない文化なのでとても驚いた。

授業は 9:00~10:30 までの 90 分授業の後、30 分のモーニングティータイムを挟み、11:00~12:00 までの 60 分授業を終えてランチとなる。授業内容はクラス別で多少違うが、ゲーム形式で英語を勉強したり、ホームステイ先で使える英会話を勉強した。大学で習った英会話はとても役に立った。そして毎日、「英語で日記を書く」、「ホストファミリーに

5 つほどの質問をする」という宿題が出た。どちらも大変で骨の折れる内容だったが、日記の宿題では、英語で文章を書く力が付き、質問の宿題では、ホストファミリーのことも知ることができ、自分のことを話すチャンスとなったので、この宿題のおかげで家での会話も盛り上がった。

マッセイ大学での英語の授業は今後の自分の糧となるととてもいい経験になった。



マッセイ大学 講義棟



マッセイ大学 キャンパス